

平成 27 年度 文化財関係 事業報告

市民学習支援課 文化財係

1) 文化財保護関係

- ・文化財保護審議会 第1回 (5/19) 「藤ノ木の御旧跡」現状変更報告及び現状変更協議
第2回 (2/5) 現状変更報告、事業報告、事業計画
- ・文化財パトロール 5月26日・27日、11月4日実施 (県文化財パトロール年2回、その他随時)
 - ・調査結果
 - 白山神社本殿・・・正面の鍵が壊れているので交換を要する。
両脇窓、日が差し込んでいたので、閉じることを指摘。
 - 若宮神社本殿・・・消火器3本が期限切れしているため、交換を要する。
建物右横に消火器を置く箱を設置。
自動火災報知機を備え付けること。
 - 勘介山古墳・・・・説明版、字がテープになっているので、消えている字書くこと。
字の消えている所は、業者に現場に来てもらいペイントで書いてもらうこと。
 - 神戸のイチョウ・・・蜂の巣があるので所有者「神戸区」へ伝え、駆除すること。
ウエタンへのスプレーをすること。
 - 飯山城跡・・・・字が剥がれている所、修繕すること。
看板下のテープが剥がれているので修繕すること。
 - 正受庵・・・・自動火災報知機の点検。消火器、市で定期的に購入すること。
 - 深沢遺跡・・・・土を飯山の業者が頼まれて運んだが、遺跡に影響があるため、運ぶのを中止するよう指示すること。

2) 文化財調査事業

- ・飯山城跡整備に伴う石垣修復工事
 - 飯山城跡石垣測量設計 (事業費 3,101 千円・県費 1,034 千円・市費 2,067 千円)
 - ・経過報告
 - 6/9 第1回飯山城石垣修復事業検討委員会開催
 - 10/20 第2回飯山城石垣修復事業検討委員会開催
 - ・実施事業 6月～1月
 - ・J石垣カルテ作成
 - ・H, I, J, O石垣、ゲージ設置による変状観測
 - ・J石垣の天端亀裂修復工事の計画
- ・発掘調査関係
 - 墓地整備に伴う真宗寺遺跡発掘調査 (4月～5月)
 - 道路拡幅工事に伴う北竜湖遺跡発掘調査 (6月～7月)
 - 柱松行事準備に伴う小菅修験遺跡発掘調査 (8月)
 - グラウンド整備に伴う飯山城跡発掘調査 (8月～9月)
 - 築堤工事に伴う田草川尻遺跡発掘調査 (9月～10月)

3) 文化財保存管理事業

- ・小菅神社奥社保存管理補助金見込み 50 千円
- ・正受庵保存管理事業補助金見込み 50 千円

4) 文化的景観保護推進事業

- 総事業費 4,000,000円
(国 2,000 千円・県費 120 千円・市費 1,880 千円)

経過報告

整備関係

- 8月 誘導標識看板の設置（8カ所）
- 9月 奥社参道入口石畳の修復工事実施
- 10月～ 奥社参道脇遺構群基準点測量実施

会議・研修・学習会等

- 5/ 1 奥社参道掃除オテンマ体験学習会開催（参加者21名）
- 5～6月 修復希望調査を全戸対象に実施
- 6/13 小菅集落現地学習会（参加者53名）
- 9/ 5 飯田市地域史研究集会に小菅の事例発表のため参加、周辺視察
- 10/25 「小菅の里及び小菅山」保存整備検討委員会
- 10/29 全国文化的景観地区連絡協議会千曲大会に参加
- 10/30 全国文化的景観地区連絡協議会千曲大会小菅学習会（56名参加）
- 10/30 文化庁担当技官と次年度計画についての打合せ実施
- 11/2 保存整備検討委員と小菅住民との意見交換会
- 12月～ プロモーションビデオ制作委託

5) 講座等

・寺子屋いいやま（各部会4回開催）

- 【文化歴史学部】 7/15、8/26、9/3、10/15（からす踊り、文化財巡り、絵解き）受講生延べ72人
- 【小菅学部】 7/18、8/28、9/10、10/29（奥社夜宮見学、小菅の魅力、里巡り、修験道）＃114人
- 【自然学部】 7/30、8/27、9/17、10/24（飯水の雪、希少昆虫、野鳥、ブナ林を歩く）＃65人

・飯山ふるさと検定

- ・検定一般の部 10/4（学びのエリア 秋まつり開催時）

受験 初級1名、マイスター1名

合格 初級1名、マイスター1名

- ・検定中学生の部（今年度、副読本「正受老人物語」の完成を受け講演会を実施）

10/13 城北中学校特別講座 正受老人物語講演会 全校参加

10/30 城南中学校特別講座 正受老人物語講演会 全校参加

11/ 5 城南中学校ふるさと検定 2学年(129名)

受験者 129名 初級 48名 中級 34名 上級 34名 マイスター 2名認定

- ・検定小学生の部（4学年以上を対象に出張検定）

12/8 秋津小学校 受験者 69名 初級 20名 中級 10名 上級 27名 マイスター 11名認定

12/9 泉台小学校 受験者 20名 初級 3名 中級 5名 上級 9名 マイスター 2名認定

12/21 常盤小学校 受験者 52名 初級 8名 中級 6名 上級 21名 マイスター 15名認定

1/21・1/28 飯山小学校 受験者 130名 初級 25名 中級 44名 上級 39名 マイスター 18名認定

6) 希少動物保全活動（天然記念物）

・オオルリシジミ関係

監視パトロール活動委託（西山区）

委託料 50,000円 6/1 契約締結 監視パトロール期間 6/1～7/20まで(50日間)

・「北信濃の里山を保全活用する会」関係

オオルリシジミ保護増殖を中心とした保全活用事業委託

委託料 50,000円 5/1 契約締結 委託期間 5/1～11/30まで(7か月間)

オオルリシジミ観察会

6/ 7 戸狩温泉スキー場で実施・40名参加・一人当たり平均確認数6.0頭

6/21 旧飯山国際スキー場・悪天候のため中止

環境整備・保全作業

4月～11月 環境整備(草刈、かき作業、監視用モニター、立ち入り禁止ロープ設置)、パトロール

調査・研究

5月～7月 戸狩放蝶、発生調査、食草植栽

11/22 カヤの活用研究

・「黒岩山」関係

ギフチョウ・ヒメギフチョウ保護増殖事業委託

委託料 135,000 円・5/1 契約締結・黒岩山パトロール期間 5/1～11/30 まで(7 か月間)

5/10 カタクリ・ギフチョウ観察会、霧雨で気温が上がらなかったため中止

5 月～11 月 環境整備等

7) 文化財指定関係

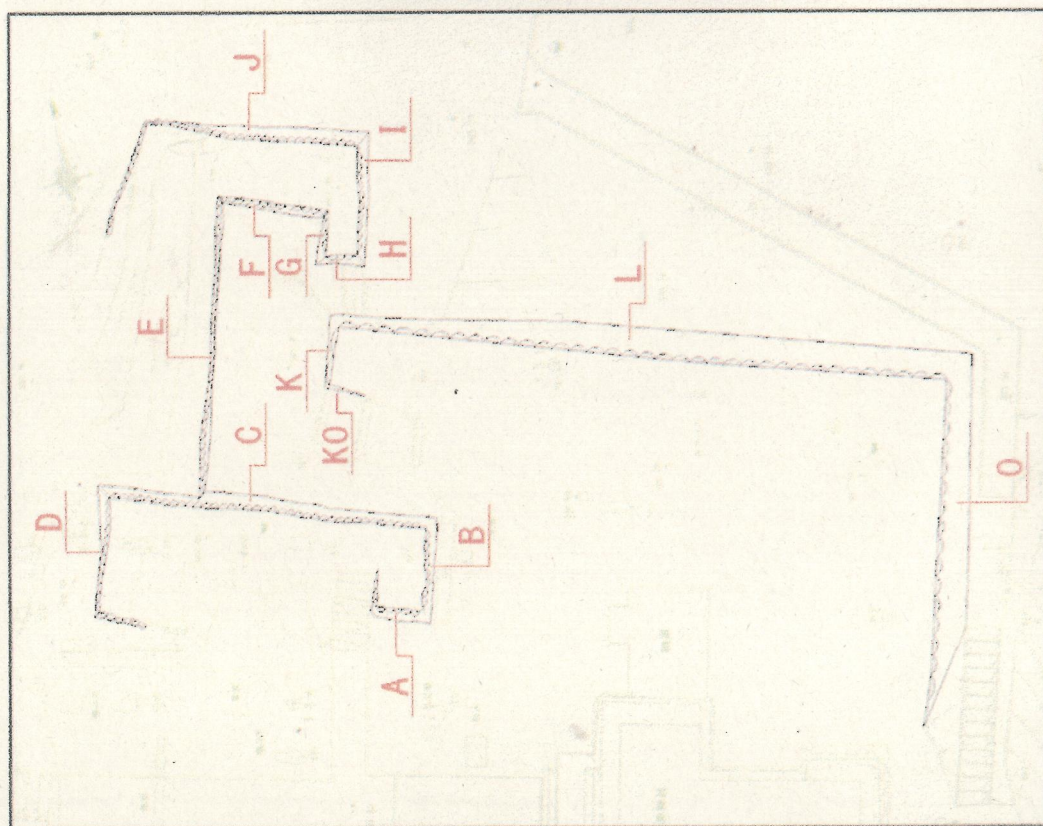
木造馬頭観世音菩薩坐像(H27 年 8 月の県審議会に「県宝」の諮問、現在審議中)

小菅の護摩堂 (H28 年 2 月に県審議会に「県宝」の諮問予定)

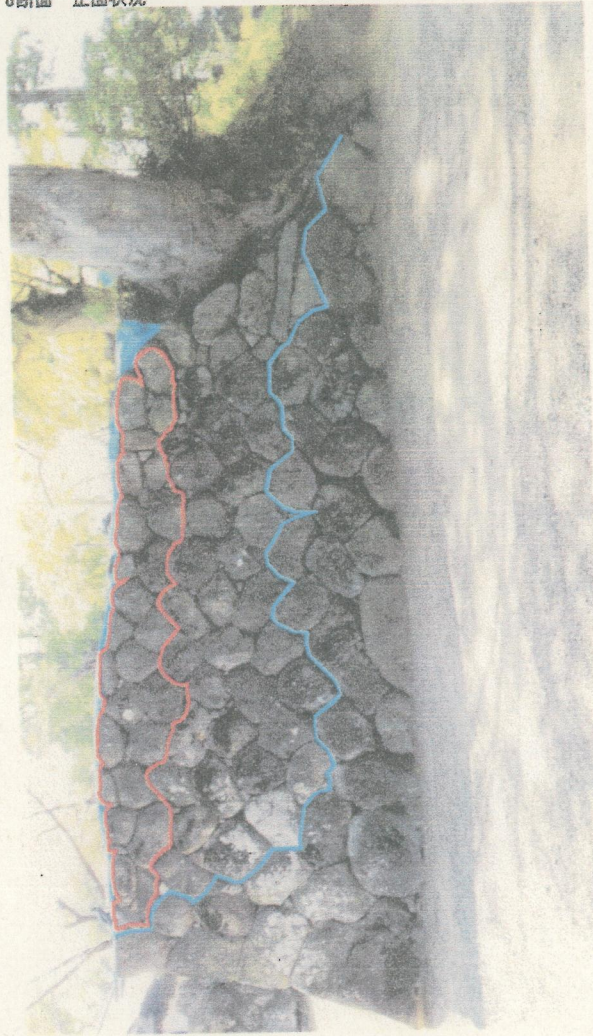
小菅の講堂 (H28 年 2 月に県審議会に「県宝」の諮問予定)

小菅の仁王門 (H28 年 2 月に県審議会に「県宝」の諮問予定)

◆石垣位置図（石垣番号配置図）

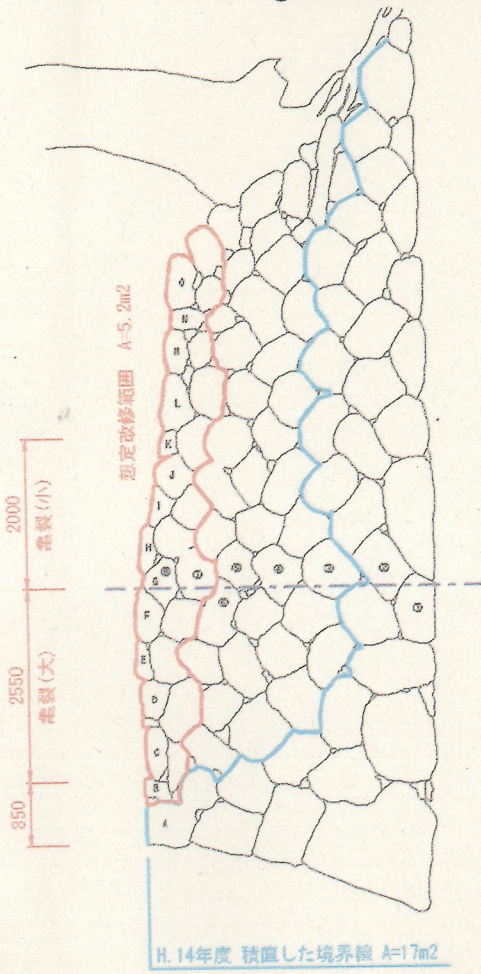


J断面 正面状況



正面図
S=1:50

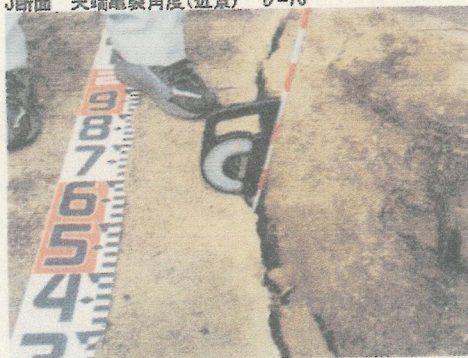
①



J断面 天端亀裂角度(遠景) $\theta=76^\circ$



J断面 天端亀裂角度(近景) $\theta=76^\circ$



長野県教育委員会教育長 様
(文化財・生涯学習課扱い)

飯山市教育委員会
教育長 長瀬 哲 印

長野県宝指定申請について（通知）

このことについて、下記の物件について指定してください。

記

種 別	有形文化財	ふりがな 名 称	護摩堂 ごまどう
所 在 地	飯山市大字瑞穂7053-1		
所有関係の概要	小菅神社 氏子総代会長 眞島昭一		
申 請 理 由	現存する護摩堂は小菅山別当大聖院の跡地にあり、一説に寛延3年(1750)の建立という。ただし、正徳5年(1715)隠居した別当職5代恵昭が、護摩堂を建立したという記録があることから、建築原型の年代はさらに遡ると推測される。天和2年(1682)の「領内寺社領並由緒差出帳」には、護摩堂が記されておらず、延享3年(1746)作成の「小菅山古絵図並當時絵図」には描かれている。こうしたことから講堂は、恵昭の代(1690～1715)に建立されたと考えてもよさそうである。 大型の寄棟造りの建造物で、南面し、向拝は唐破風造りである。向拝虹梁の絵、糞股や唐破風内部の彫刻は見事である。内部は前2間通りを外陣、後ろ3間通りを内陣とする。外陣・内陣の円柱の支え柱は、豪壮かつ美観をみせている。内陣周りの挿し肘木や祖組物には技術の高さが認められる。内陣は一段高く、中央に祭壇が設けられ護摩祈祷の建築様式をもつ点で重要である。		
申請物件の概要 及び保存の経緯	種類 品櫃及び形状 寄棟造、鉄板葺 寸法または重量 桁行7間、梁行5間 作 者 製作の年代または時代 寛延3年 その他 平成26年9月2日 飯山市有形文化財指定。		
申請物件の将来に わたる保護の概要	小菅神社(小菅神社氏子総代会)が管理・保護している。		
申請物件の地域に係る他 の法令等による規制			
県内同類物件(所在 地、名称、比較)			

(添付書類)

- 1 所有者等の承諾書
- 2 所有権を示す資料
- 3 関係地図(2万5千分の1又は5万分の1程度の位置図)
- 4 写真
- 5 申請物件の学術的資料

長野県教育委員会教育長 様
(文化財・生涯学習課扱い)

飯山市教育委員会
教育長 長瀬 哲 印

長野県宝指定申請について（通知）

このことについて、下記の物件について指定してください。

記

種 別	有形文化財	ふ り が な 称	講堂
所 在 地	飯山市大字瑞穂7132-2		
所有関係の概要	小菅区 区長 石森俊孝		
申 請 理 由	永禄9年(1566)の「信濃高井郡小菅山元隆寺之図」に講堂が描かれていて、講堂の近くには鐘楼や金堂があった。いったんは甲斐武田氏の兵火で失ったが、天和2年(1682)の「領内寺社領並由緒差出帳」には、講堂の存在が記されている。元禄10年(1697)に松平忠喬が講堂を修復したという記録とつきあわせると、松平時代(1639～1705)に再建されたことを伺わせる。現存する寄棟造りの講堂は、寛保元年(1741)に再建されたものという。南面し、前面に向拝を設け、前と左右にコの字の広縁を通していている。内陣には享保17年(1732)に作られた阿弥陀三尊仏が安置され、講堂の荘厳さを補強している。明治期には学校として、昭和初期には公会堂として使用されたが、大改装されなかった。祭り資料館に転用されている部分があるが、建造物の構造や景観を損ねてはいない。広い堂庭をもつ由緒ある建造物である。		
申請物件の概要 及び保存の経緯	種類 品櫃及び形状 寄棟造、鉄板葺 寸法または重量 桁行8間、梁行7間 作 者 製作の年代または時代 寛保元年 その他 平成26年9月2日 飯山市有形文化財指定。		
申請物件の将来に わたる保護の概要	小菅区が管理・保護している。		
申請物件の地域に係る他 の法令等による規制			
県内同類物件(所在 地、名称、比較)			

(添付書類)

- 1 所有者等の承諾書
- 2 所有権を示す資料
- 3 関係地図（2万5千分の1又は5万分の1程度の位置図）
- 4 写 真
- 5 申請物件の学術的資料

長野県教育委員会教育長 様
(文化財・生涯学習課扱い)

飯山市教育委員会
教育長 長瀬 哲 印

長野県宝指定申請について (通知)

このことについて、下記の物件について指定してください。

記

種 別	有形文化財	ふりがな 名 称	仁王門 におうもん
所 在 地	飯山市大字瑞穂6076-1		
所有関係の概要	小菅神社 氏子総代会長 眞島昭一		
申 請 理 由	天保2年(1682)の「領内寺社領並由緒差出帳」に小菅に仁王門があったと記されていることから、そのころに仁王堂(仁王門)が建立されていたと考えられる。享保3年(1746)作成の「小菅山古絵図並當時絵図」には、参内・集落の入り口に仁王門が描かれている。これは現在地とほぼ変わらない位置である。 筑後300年を経た建造物であるとみられ、内部に一對の金剛力士像(寄木造り)が安置されていることから、歴史的価値は高い。かつて人々は仁王門をくぐって往来していた。庶民が仁王像に病氣平癒や健康を祈願した点、あるいは霊場小菅の悪霊退散・悪疫防御の意味合いでも重要な建築物である。		
申請物件の概要 及び保存の経緯	種類 品櫃及び形状 入母屋造、鉄板葺 寸法または重量 桁桁3間、梁桁2間 作 者 製作の年代または時代 元禄期 その他 平成26年9月2日 飯山市有形文化財指定。		
申請物件の将来に わたる保護の概要	小菅神社(小菅神社氏子総代会)が管理・保護している。		
申請物件の地域に係る他 の法令等による規制			
県内同類物件(所在 地、名称、比較)			

(添付書類)

- 1 所有者等の承諾書
- 2 所有権を示す資料
- 3 関係地図 (2万5千分の1又は5万分の1程度の位置図)
- 4 写 真
- 5 申請物件の学術的資料